

# 国保税 一般会計から3千万円繰入れと 12%ほどの税率アップ

## 黒潮町国民健康保険条例の一部改正

国保の運営が医療費の増加等により歳入不足となり、平成23年度からは繰上充用による厳しい運営が続いている。このため、国保事業の健全化を図るため3千万円程度の増収を見込み、一人当たり約12%の税率アップの改正とするもの。

この税率改正により、一世帯当たりの平均は年間13万8千円弱となり、1万4千円強の増となる見込み。

町も、増収見込み額と同額の3千万円を一般会計からの法定外繰入として予算化をした。

また、健康増進事業にも力を入れて医療費の抑制に努めると共に、国保税の徴収に一層力を入れて取り組む。

今後は、国の財政支援、医療費の動向等を見極めながら、中期的視野に立ち累積赤

字の解消に努め、国保事業の健全化を目指していきたいと考えている。 可決（多数）

### 反対 宮地 葉子議員

国保加入者は、所得が103万円以下の方が66・7%という低い収入の中で、一番高い保険料を払わなければいけない。

一番の原因は、国の負担率の低下で国の責任なのだが、国の悪政の防波堤になつていくのが地方自治体だと思ふ。その点では、中学生までの医療費無料化など黒潮町でも頑張っているが、国保税を値上げすると、これに加え、4月から消費税が8%に上がり、さらに住民の生活を直撃する。以前から一般会計から法定外の繰り入れをするように要望してきたが、今回初めて、3千万円の繰り入れになつた。確かに国保財政は赤字だが、黒潮町には、基金が20億

8700万円ある。その中で、さらに3千万円の繰り入れは不可能な額ではない。基金は住民の暮らしのために使うべきで、住民福祉の向上を求めていくとの大西町長の姿勢にも合致する。命と健康を守ることもそこそは究極の福祉だと思うので、この値上げには反対する。

### 賛成 山崎 正男議員

国保は、退職者や自営業者等が集まる高齢化の組織であり、加入者は、これ以上困らせる気かという気持ちであると思うが、この問題は、国保制度の改革をしない限り、我々地方自治体の国保加入者は浮かばれないと考えている。しかし、増税をしなければ、この赤字はますます増えて、国保の運営ができなくなる。薄氷を踏むつらい選択だが、私は賛成せざるを得ないと思う。

医療費が年々増加し、そのための対策と考えたら、それ

### 反対 明神 照男議員

医療費が年々増加し、そのための対策と考えたら、それ

はやむを得んという考えも理解できるが、町の医療費削減の取り組みがなかったことと、今の町財政の中で、無駄をはぶくことなどへの総合的に取り組みが見えないので、反対する。

### 賛成 下村 勝幸議員

この国保の問題は法律上の問題、国の負担率が極端に下がったことが一番問題と考える。特に国保の加入者は、低所得者が多いなど、無理なら



健康診断で病気の早期発見と早期治療を

ざる形のものではないかと認識している。

この会計には、以前から1千万円の法定外繰入をしてきたが、それを3千万円にまで増額すると共に、それと同額の3千万円分を国保の加入者の方にもご負担いただくことにより、3分の2の国保非加入者の方への説明責任を果たしたいとの話もあり、やむなしと判断して賛成する。

### 黒潮町債権管理条例の制定

黒潮町が有する債権に関し、債権の性質に応じて区分を行い、債権の管理等に必要事項について定めることにより、債権管理の一層の適正化を図るため、条例を制定するもの。 可決（多数）

### 藤本 岩義議員

この債権管理条例は、町内の債権の管理体制を1つにまとめる条例のようだが、水道料は、地方自治法の使用料に当たると思われる。その使用料を延滞した場合の取り扱いを聞きたい。